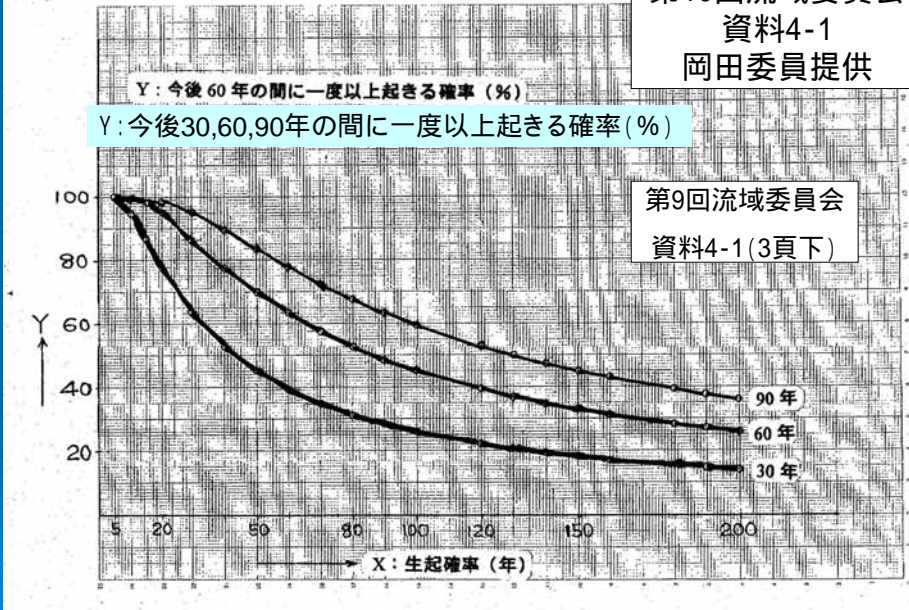
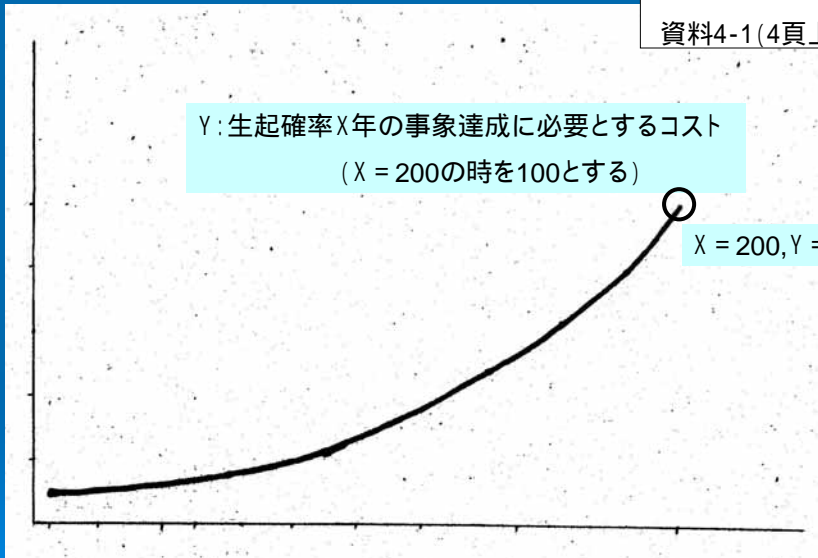
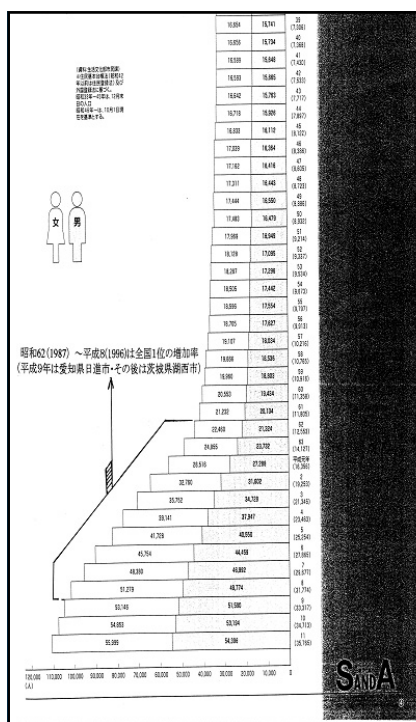


第10回流域委員会
資料4-1
岡田委員提供



第9回流域委員会
資料4-1(4頁上)





左の図は三田市のS33(1958)年からH11年(1999)迄の人口の推移を示します。

(2003/6月三田市役所より)

S60頃までは人口の増加はそれほどでなかったが、S62年以後は急激に変化しています。

S58年以後を次の頁に拡大してご案内します。

第9回流域委員会
資料4-1(7頁上)

引き伸ばし倍率について()

大熊 孝:脱ダムを阻む「基本高水」(世界2004.10 P129)

『実績降雨の時間分布・地域分布を継続時間は変えずに計画降雨量まで引き伸ばしを行う。ただ、あまりに引き伸ばしが大きすぎると自然現象から逸脱する恐れがあるので、その引き伸ばし率は2倍以下を原則としている。』

何れの論文も、引き伸ばし率は2倍としています。
(兵庫県当局は、あまり独断的な解釈をすべきでないと考えますが如何でしょうか。)

第9回流域委員会
資料4-1(11頁上)